

山田としお 国政報告

第25号

令和6年12月発行



はじめに、年明けの能登半島地震をはじめ、相次いだ大雨や台風等の自然災害により被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興に向け、全力で取り組んでまいります。

さて、自民党の総裁選挙から、息づく暇もなく解散、総選挙と、大変慌ただしい秋でした。皆さんも、秋の収穫の時期と重なり、お疲れさまでした。政治資金収支報告書への不記載問題等に対する有権者の皆さまの不信感を払しょくできないまま総選挙に突入してしまい、涙をのんだ農林議員の仲間も少なくありません。

これから、党において
も次期食料・農業・

総選挙を終え、危機感を持って 次期基本計画の党内議論を

はじめに、年明けの能登半島地震をはじめ、相次いだ大雨や台風等の自然災害により被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興に向け、全力で取り組んでまいります。

農村基本計画の策定に向けた検討を始めようとしていた矢先のことであり、たいへん残念です。

国会運営も不安定さが増すこととなります。衆議院では与党が過半数割れとなり、予算審議を取り仕切る権限を持つ予算委員長ポストを野党に譲ることとなりました。

しかし、立ち止まっている時間はありません。補正予算案の審議、税制改正、令和七年度当初予算編成に加え、次期基本計画に関する党内議論を加速・本格化させていかねばなりません。

とくに、生産コストの高止まりが続く中で、適正な価格形成は食料の持続的な供給のためにも具体化が不可欠です。次期通常国会に法案が提出される予定ですが、消費者への情報発信はもとより関係者の合意形成を地道に積み上げていかねばなりません。

2回目の 「国際協同組合年」に向けて

2025年は、国連による2回目

の「国際協同組合年」です。すべての国連加盟国が協同組合を促進し、持続可能な開発目標の実施と社会・経済開発全体に対する協同組合の貢献に対する認知を高める方法として、「国際協同組合年」を活用することを促すこととされています。

私は、「協同組合」の理念や存在意義に理解のある衆・参の国会議員が、超党派で構成している「協同組合振興研究議員連盟」(前回の国際協同組合年2012年に設立・会長は森山裕衆議院議員)の幹事長を務めており、同議員連盟では、2回目の国際協同組合年に向けて、「協同組合の振興に関する国会決議」ができないものか模索しているところであります。

今後とも、我が国において、国民の「食」と「農」を守り、「地域」を発展させていくためには、市場原理主義ではなく、JAを核とした「協同」の力こそが不可欠です。私は、こうした考えを基本に、農業者の皆さんの農業所得向上・経営安定や、地域の農業振興に資する政策の実現に、全力をあげてまいります。ともに頑張りましょう。

これからも、精一杯務めていく所存です 「協同」の力で「食」と「農」を守り、「地域」を発展させていきましょう

平成19年の参議院議員選挙で、農林漁業者とJAの代表として、約45万票という圧倒的な支持をいただいて感激の初当選から、早くも17年の歳月が過ぎました。これまで何とか国会議員としての務めを果たしてこられたのは、ひとえに皆さんの温かいご支援と励ましのお蔭です。心から感謝申し上げます。

「山田、頑張れ」とご支援をいただいてきたJAグループの皆さんや農業を応援して下さる幅広い階層の皆さんのご期待に応えるべく、全身全霊で取り組んできたつもりです。しかし、ご期待に十分応える成果を果たして挙げられているのか、はがゆい思いをしたこともありました。

振り返れば、これまで、行き過ぎた競争至上主義や市場原理主義勢力との闘いに多くの時間を割いてきました。私は、根っからの協同組合大好き人間であり、協同の理念と相いれない市場原理主義や新自由主義的な政策の導入には精一杯抵抗してきたつもりです。

当選後まもなく、農協についての理解を広げるため、「参議院農業・農協研究会」を立ち上げたり、参議院自民党の有志と一緒に「新しい日本型資本主義を考える会」を結成し、市場原理主義を見直す「まっとうな日本を考える」という提言を取りまとめて、当時の安倍総裁に提出したりしました。

しかし、いま私が若干懸念していることは、近年、協同組合であるJAが、事業体の側面を強めていく一方で、運動体として、政治や社会運動への関心や関与が、年々薄くなってきてはしないかということです。農業者・JAグループの要望に沿った政策を実現するためには、政治の力は不可欠です。

今後とも、JAが地域に根ざした協同組合として役割を発揮していくうえで、解決しなければならない課題は、山積しています。

私は、それら課題解決のお役に立てるよう、これからも、精一杯務めていく所存であります。皆さまの引き続きのご支援・ご鞭撻をお願いいたします。あわせて、JAが地域の核となって、「食」と「農」を守り、「地域」を発展させていく取り組みを「協同」の力で実践し、実現していかねばなりません。ともに頑張りましょう。



参議院農林水産委員会が農研機構を視察(6月12日)



JA全青協役員の皆さんからの要請(11月1日)

山田としおホームページ

➔ <https://www.yamada-toshio.jp/>

山田としおの足あと(活動記録)や、山田のつくった法律などを分かりやすくご紹介しています。ぜひご覧ください。



ホームページから山田としおメールマガジンにご登録ください

山田の主張や熱き思いを知ることができます。

山田としおフェイスブック

山田の日常を掲載。ぜひ「山田としお」にいいねを。



山田としおエックス

➔ [@toshio_yamada1](https://twitter.com/toshio_yamada1)

ぜひいいねやリポストで山田の活動を広めてください。

山田としお公式ブログ

➔ <https://ameblo.jp/toshio-yamada/>

山田の近況がわかります。